

本計画の推進にあたっては、市教育委員会が、国・県の関係機関をはじめ、学校・家庭・地域・関係団体・行政と連携しながら一体となって、施策を展開していくことが重要です。

これらを着実に推進するためには、各事業の進捗状況・効果等を検証し、見直しを行いながら、効果的・効率的な事業の推進が必要となります。

現在、教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、毎年、事務の管理及び執行について点検・評価を行い、その結果について議会に報告するとともに、ホームページで公表をしています。

このような取組により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていきます。

稲敷市教育振興基本計画における数値目標一覧

指標値	指標の考え方	現況値 (平成27年度)	将来値 (平成33年度)
子育て支援コンシェルジュへの相談件数	子育て支援センターの行事や各種検診へのコンシェルジュの派遣等を通し、相談の機会を増やす	平成28年4月現在 48件/月	60件/月
子育て支援センター利用者数	子育て支援センターあいアイの利用者数の増加	7,874人	10,000人
ファミリーサポートセンターの登録会員数	ファミリーサポートセンターに登録している提供会員・依頼会員の会員数の増加	162人	260人
乳幼児訪問（養育支援訪問事業）	養育支援が必要な家庭に対し、訪問により子育ての相談を行う	171件	200件
子育て支援情報サイト登録者数の増加	子育てに関するニーズを踏まえ、アプリ等を充実させることで、サイト登録者を増加させる	—	300人
子育て情報「はあとマガジン」の登録者数	市内各支援センターの情報をメール配信する「はあとマガジン」登録者数の増加	318件	350件
子育て学習会参加者数	子どもや子育てに関する子育て学習会の充実を図る	370人	450人
運動あそびの充実	幼児が一日に60分以上体を動かす日数の割合 ※幼児が体を動かす時間は、環境や天候などの影響を受けることから、屋内も含め一日の生活において、体を動かす合計の時間として設定 幼児期運動指針より	67.0%	80.0%
家庭学習の取組（宿題含む）	学校の授業時間以外に普段1日当たり60分以上勉強をしている児童生徒の割合 (対象：小学校6年生・中学校3年生) 全国学力調査より	小学校 62.0%	小学校 70.0%
		中学校 55.0%	中学校 80.0%
英検合格者数	小学校5級、中学校3級の英検合格者数 平成26年実績（小学校5人、中学校20人） (対象：小学校6年生・中学校3年生)	小学校 8人(3%)	小学校 50人(15%)
		中学校 65人(19%)	中学校 120人(40%)
ジュニア防災検定合格者数	小学校5年生のジュニア防災検定合格者数の割合 (平成27年はモデル校での実績)	モデル校1校 100%	市内全小学校 100%
電子黒板の導入	小中学校普通教室に各1台整備する	小学校4台 中学校8台	小学校65台 中学校26台
地域の行事に参加しているという児童生徒の割合	全国学力学習状況調査結果における地域の行事に参加しているという児童生徒の割合 (対象：小学校6年生・中学校3年生) 全国学力調査より	小学校 73.1%	小学校 80.0%
		中学校 49.1%	中学校 60.0%
Q-U調査による学校生活満足度の割合	学校生活意欲と学級満足度 全国平均 小学校(1~3学年) 42.0% 小学校(4~6学年) 39.0% 中学校 37.0%	63.2% 61.5% 52.2%	65.0% 63.0% 55.0%
読解力の向上に資する児童生徒の読書習慣の定着状況	「みんなにすすめたい一冊の本」年間目標達成率（小学校50冊、中学校30冊）	小学校 64.5% 中学校 29.2%	小学校 65.0% 中学校 30.0%

指標値	指標の考え方	現況値 (平成27年度)	将来値 (平成33年度)
体力テスト総合評価の割合	体力テストでの総合評価 A+B の割合	小学校 52.8% 中学校 60.2%	小学校 60% 中学校 65%
教育施設の改修施設数	長寿命化改修, 大規模改修を進める	15 施設	32 施設
いなしき大学の受講者数	受講者数の拡大	272 人	380 人
公民館の講座の受講者数の拡大(参加人数)	講座の参加延べ人数	2,004 人	2,400 人
市民一人当たりの図書貸出冊数	市民一人当たりが一年間で借りる図書の冊数	2.8 冊	3.0 冊
スポーツフェスティバルの参加者数	各種目検討を加え, より充実したイベントとして参加者を募る。	2,975 人	3,500 人
スポーツ少年団の団員数(児童・生徒)	少子化により児童生徒が減少するなかで, スポーツ少年団の今後の活動を促進していくことで団員数の減少(▲15%)を抑制する。 ※ここ年間約50人位毎減少しており, このまま減少すると平成33年までに約300人(▲51%)減少する。	585 人/年	500 人/年
スポーツ教室の満足度	幅広い世代に対応した教室の企画で満足度を高める。	40%	50%
江戸崎体育館の整備率	平成31年に開催される国民体育大会に向けた会場施設整備を計画的に進める。	0%	100%
社会体育施設の利用者数	施設管理システムにより, 利用者の利便性を図る。	192 千人 延べ人数	220 千人 延べ人数
文化団体数	活動団体の発展及び団体数の増加	165 団体	170 団体
稲敷市歴史民俗資料館の年間来館者数	稲敷市の歴史・文化を質の高い企画展示の充実と普及活動で, 来館者数の増加を図る。	8,403 人	9,000 人
稲敷市歴史民俗資料館の企画への小中学生の参加者数	小中学生の見学。勾玉づくり教室, 職場体験等の学習支援。市民ニーズの高い歴史講座, 史跡めぐり, 古文書講座等の開設等の教育普及の強化と充実を図る。	589 人	1,000 人
地下埋蔵文化財対策事業として, 有無の紹介事務の円滑化を図る	円滑な事務対応をするために, 埋蔵文化財包蔵地マップの整備や台帳のGIS化を図る。指標値は試掘調査を含む対応年間件数。	212 件	300 件
避難訓練実施数	各学校で行っている独自の避難訓練・地域と連携した避難訓練の回数	3 回/年	3 回/年
通学路交通安全プログラムに基づく通学路の安全確保	毎年, 関係機関と合同点検を行い, 通学路重点課題箇所の対応を検討し, 対策の改善・充実を図る。	72.7%	100%
スクールガード・リーダーによる通学路・学校内外の巡回指導	防犯訓練・学校内外の巡回・指導等により被害の未然防止と危機管理意識の向上を図る。	454 日 延べ日数	576 日 延べ日数
「子どもを守る110番の家」の設置の促進	「子どもを守る110番の家」の設置を促進し, 地域連携体制の強化を図る。	1,005 件	1,100 件



市の花/きく



市の木/さくら



市の鳥/うぐいす

用語一覧（掲載順）

ページ	用語	説明
7	グローバル化	社会的あるいは経済的な連関が、旧来の国家や地域などの境界を越えて、地球規模に拡大して様々な変化を引き起こす現象。
8	適正規模	学校においては、児童生徒の社会性の育成及び互いに切磋琢磨する場として一定の規模が必要であるとしている。茨城県では、小学校はクラス替えが可能である各学年2学級以上となる12学級以上、中学校は、クラス替えが可能で、全ての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましいとしている。
8	圏央道	首都圏中央連絡自動車道。（平成29年2月26日 茨城県区間 全線開通）
9	ネット上のいじめ	携帯電話・スマホやパソコンを通じて、インターネット上のウェブサイトの掲示板などに、特定の子どもの悪口や誹謗・中傷を書き込んだり、メールを送ったりするなどの方法により、いじめを行うもの。
9	ICT	【Information and Communication Technology】（情報通信技術）のこと。情報や通信に関する技術の総称。
9	電子黒板	描いた内容を電子的に変換することが可能なホワイトボード。
9	情報モラル教育	情報を扱う際に必要とされる倫理や規範に関する教育。
11	アクティブ・ラーニング	教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。
13	ユニバーサルデザインの視点からの授業	全ての子どもにとって「分かる・できる」授業を展開すること。
13	課題解決的の学習	学習を能動的なものとして規定し、知識の暗記に見られる受動的なものを脱却し、自ら問題を発見し解決していく能力を身に付けていく学習
13	体験学習	実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態
14	子育て支援コンシェルジュ	保護者の子育ての悩みや困りごとについて、いっしょに考え、悩みの解決や一人ひとりに合わせた子育て支援サービスの情報を伝える者の職名。
17	放課後児童クラブ	共働き家庭の児童を対象として、放課後等に適切な遊びや生活の場を提供するもの。
17	放課後子ども教室	放課後や週末等の子どもたちの適切な遊びや生活の場を確保したり、小学校の余裕教室などを活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施するもの。
20	家庭教育学級	家庭における教育力を高めるため、子育てに関する不安を軽減できる相談体制を充実したり親同士が情報交換をしながら子育てについて学び合ったりするもの。
22	アプローチカリキュラム	就学前の児童がスムーズに小学校の生活や学習に適応できるようにするとともに、幼児期の学びを小学校教育につなげるために作成する、幼児期の教育終了前（5歳児の10月～3月）のカリキュラムのこと。
22	スタートカリキュラム	新入児童の入学直後約1ヶ月間において、児童が幼児期に体験してきた遊び的要素とこれからの小学校生活の中心をなす教科学習の要素の両方を組み合わせた、合科的・関連的な学習プログラムのこと。
26	学びの広場サポートプラン	小学校4・5年生、中学校1・2年生を対象として、夏休みに県作成の算数学習教材を用いて学習する場を提供し、一人ひとりに応じたきめ細かな支援をすることを通して、四則計算等の知識・技能の定着を図るといふ茨城県の事業。
26	全国学力・学習状況調査	日本全国の小中学校の最高学年（小学6年生、中学3年生）全員を対象として行われている調査のこと。学力を問う問題だけでなく、児童・生徒の学習・生活環境のアンケート調査も行う。

ページ	用語	説明
29	PDCAサイクル	事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。
34	学校生活支援員	小学校及び中学校に在籍する児童生徒に対し、指導及び支援を実施し、安全並びに学校生活の安定及び向上のために活動する職員。
34	スクールカウンセラー	児童・生徒の不登校や様々な問題行動などについて、心理相談業務に従事する心理職専門家の職業名、および当該の任に就く者。
35	自己有用感	他者や集団との関係の中で、自分の存在を価値あるものとして受け止める感覚。
35	自己指導能力	その時、その場で、どのような行動が適切であるか、自分で判断して、決定して実行する能力。
35	Q-U調査	楽しい学校生活を送るためのアンケートで、学校生活意欲と学級満足度で構成され、学級診断アセスメントやいじめ、不登校などの問題行動の予防と対策にも繋がる調査。
42	食育	様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。
44	キャリア教育	一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。
46	ALT	外国語指導助手
46	英語インタラクティブフォーラム	英語による論理的・双方向的なコミュニケーション能力の育成を図るフォーラム。
50	社会科副読本	小学校3,4年生が社会科学習において使用する副読本のこと。市町村における「まちの様子」や「人びとの仕事やくらし」、「まちの歴史」などを写真、イラスト、グラフをまじえながら、児童に分かりやすく紹介している。
52	教育用デジタルコンテンツ	各教科の授業で活用できる動画、写真、音などのデジタル素材。
56	特別支援教育支援員	児童生徒の自立のための身辺処理の介助をする者の職名。
56	学校教育支援員	児童生徒の教育的ニーズに応じて、担任の補助として行う学習指導及び身辺介助も行う者の職名。
56	サポートファイル	乳幼児期から成人まで、利用している関係機関が変わっても、途切れのない、一貫した適切な支援ができるように、保護者・本人と関係者をつなぐ支援や相談の記録を一冊にまとめたもの。
58	複式学級	2つ以上の学年を1つにした学級。（小学校：第1学年の児童を含む場合8人・第1学年の児童を含まない場合16人、中学校：8人）
63	校務支援システム	学校や児童生徒に関する様々な情報をデジタル化し、教職員間で共有することによりきめ細かな指導を可能とするとともに、校務の負担軽減を図り、教員が子どもと向き合う時間等を獲得することができるようにしたパソコンソフト。
64	スクールガード・リーダー	学校や通学路等を巡回し、学校や児童、PTAや地域の学校安全ボランティアへの指導、安全に関する学校の取り組みへの助言などを行う、市教育委員会が委嘱した警察官OB等。
64	スクールサポーター	警察署と学校・地域のパイプ役として、少年の非行防止や児童等の安全確保対策に従事する警察署の再雇用職員または専門知識を有する人。
76	レファレンス・サービス	求める情報にスムーズにたどり着ける方法を支援するサービス。
81	GIS	地理情報システム（GIS:Geographic Information System）は、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。

稲敷市教育振興基本計画
〈第2期〉
2017-2021

発行年月 平成 29 年 3 月

発 行 稲敷市教育委員会
〒 300-0595
茨城県稲敷市犬塚 1570 番地 1
TEL 029-892-2000
<http://www.city.inashiki.lg.jp/>

印 刷 東京書籍株式会社
